



海外から参加希望の若手研究者に一層の支援を —再度のお願い—

IUGG 参加登録の手続きが進行中ですが、登録料の早割り期限である3月末の時点で、その登録者数は、約2200人(その内、約半数が外国)です。一方、IUGG 総会出席に関心のあるID取得者数は約6000人です。出席経費の支援を希望している若手研究者や学生の数は約1100人ですので、日本側からの支援が得られるかどうかで登録するかどうかを決めようとしている若手参加者は、相当な数になると予想されます。その意味で、日本側がどれだけ支援できるかどうか、IUGG2003 総会の成功にとって重要な要件であると思われます。

また、IUGG 傘下の各協会の中で、我がIAMASを主たる参加協会として出席する人の数は、上位に位置しており、気象・大気科学関係は、IUGGの中心的存在として役割を担わなければなりません。

3月末の寄付応募状況は、企業および個人からの献金を合わせて、地球物理学諸学会全体で約2000万円です。募金目標が6000万円ですので、まだまだ道遠です。

会員各位には先の「天気2月号」にお知らせ致しましたが、上のような状況をふまえて、再度で恐縮ですが、ご寄付の協力をお願いする次第です。寄付の方法

など具体的には、2月号を見て頂ければ幸いです。

なお5月21日からの春季大会(つくば市)会場受付においても募金の受付をいたします。

ご支援を寄せて頂いた分については、学会が実施した過去の募金時の例にならって寄付者名など、順次、本誌に状況を掲載します。また、IUGG組織委員会/募金委員会では、寄付者リスト等の詳しい資料を、事後、発行することになっています。

平成15年4月10日までの寄付受付(入金順、敬称略)

- *対象1(登録料私費参加又は不参加):古賀晴成, 山岸米二郎, 平木 哲, 駒林 誠, 米谷恒春, 野瀬寿一, 近藤 豊, 屋良 一, 鯨井孝一, 松島 大, 巽 保夫, 加藤 進, 牧原康隆, 仁科淳司, 水間満郎, 梶川正弘, 中村誠臣, 廣田 勇, 轡田邦夫, 春日 信, 藤吉康志, 斉藤和雄, 牧野行雄(以上23名, 計22万2千円)
 - *対象2(登録料公費参加):木田秀次, 鬼頭昭雄, 山崎 剛, 山中大学, 山内 恭(以上5名, 計19万円)(他に組織委員会募金窓口にて, 住 明正(10万円))
- 合計51万2千円